



まるまる通信 Vol.2



令和4年9月1日から文京区湯島で事業所を開設しました、まるまる訪問看護ステーション湯島です。
 バタバタしながら日々あつという間に2カ月目も過ぎていきました。
 2カ月目も弊社では、積極的に勉強会を行っていきました。一部をご紹介します。

・PHILIPS(人工呼吸器メーカー)様をお呼びしての勉強会

難病の方のケアするに当たって、人工呼吸器管理は必須になってくるものと思います。10月は在宅で使用する人工呼吸器の6割程度のシェアを誇るPHILIPS様をお招きして実際に人工呼吸器に触りながら、リスク管理や操作方法や機器による性能の差などを勉強していきました。

今回お持ちいただいたのが、**トリロジー100plus**と**トリロジーEvo**の2機種をお持ちいただきました。
 現状人工呼吸器を使用されている方は、トリロジー100plusが多いとのことですが、これから人工呼吸器管理になる方は基本的にトリロジーEvoになるとのことです。(PHILIPSの人工呼吸器を使用する場合)
 トリロジーEvoは新しい機種なのですが、トリロジー100plusとの違いは、色々ありますが大きいところであれば、バッテリーでの駆動時間かと思えます。

トリロジー100plus → 内部+外部バッテリー=6時間駆動



トリロジーEvo → 内部+外部バッテリー=15時間駆動



人工呼吸器を使用している方たちにとって、災害時の対応には不安が付きまとう部分ではありますが、

停電時などには、人工呼吸器は内部・外部バッテリーを使用して停電復旧までの間、呼吸器を駆動していく必要があります。

その際により長く駆動できることはとても心強く安心材料になるかと思えます。

上記の様に100plusとEvoでは倍以上の駆動時間となっている為、とても安心感があるかと思えます。

ですが、元々100plusを使用していた方は、機器を簡単に変更すればいいというものでない様です。

弊社ではどちらの機種も使用出来るように、両方触らせて頂いていますので、どちらでも対応致します。

人工呼吸器の操作や機種理解の他にも、人工呼吸器管理に関しての勉強会も別に行い、どういったリスク管理や、ヘルパーさんやご家族の方への指導が必要なのか。また環境面の整備など訪問看護としてやらなければならないことがたくさんあることもスタッフ皆で確認しました。

安心して在宅生活を送って頂ける様に、これからもどんどん勉強会などは行っていきたいと思えます。



*** まるまる訪問看護ステーション湯島では、緊急時(24時間)対応もさせて頂いており、終末期ケア・難病・呼吸器疾患・中枢性疾患など幅広く経験のあるスタッフがいますので、ご相談や無料相談だけでも結構ですので、お気軽にお問い合わせ頂けましたら幸いです。**

HP

〒113-0034 東京都文京区湯島4-6-12湯島ハイタウンB1417号室
 まるまる訪問看護ステーション湯島
 TEL: 03-4431-3226
 FAX: 03-6625-0289

